

中3国語 出題のねらいと対策

一 漢字の読み書き 62.5%

ねらい：漢字を正確に読み、書けるようにする。

分析と対策：本や新聞などで、読み方がわからない漢字があれば、辞書を引いて読み方を確認しましょう。また、熟語の意味にも注意して、同音異義語を使い分けましょう。

二 文学的文章読解 66.1%

ねらい：登場人物の立場や関係性を把握し、会話文やその様子から、それぞれの心情を読み取る。

分析と対策：入院し、死期が迫った祖母が孫の「私」に頼んだ「さがしもの」。それがなかなか見つからない上に、祖母と、彼女を気遣うがゆえに衝突する娘の「母」の間に入って悩む主人公。それぞれの登場人物の心境を丁寧に読み取ります。問3では「さがしもの」を通しての「私」と祖母のやりとりから「私」の心情を捉えます。また、問4では、祖母に怒られた母の心情を、問5ではそんな母に対する「私」の印象を読み取ります。問7では「濁った水を吸い上げていくような気分」という「私」の戸惑い、暗く落ち込んでいく心情を理解します。文章の細部にも注意しながら、それぞれの人物の心情に寄り添って問題に当たしましょう。

三 説明的文章読解 28.3%

ねらい：出典が「偶然を生きる思想『日本の情』と『西洋の理』」とあるように、日本と西洋の思想的な違いを述べた文章からの出題。難解な語が多く、読解がスムーズに進まない要素のある文章だ

が、難解語の意味を確認しながら、一文一段落ごとにしっかりと理解し、筆者の主張を正確に捉える。

分析と対策：文章の流れとして、西洋の思想と日本の思想、ここでは「自由」についての捉え方の違いを、「偶然」を拒否するか許容するかで示しています。「西洋では～」「西洋人は～」「日本では～」「日本人は～」という形を多用して、日本庭園とベルサイユ宮殿の「作庭術」を例に、比較しながら説明しています。問1は「日本的な自由の概念」についての理解が問われます。傍線部の前後の内容に着目します。問2では、傍線部のある段落で説明された「西洋的な自由観」を捉えます。問3、4は日本と西洋の「作庭術」についての問いです。自然を活かすか人工的かの違いをしっかりと理解しましょう。

四 古文読解 31.9%

ねらい：江戸時代の町人の商売の心得を記した文章を読み取る。

分析と対策：問3の生徒の会話から、この文章の要旨を読み取ります。二人の裕福な米屋が財を成した方法は、下層の人々の声に耳を傾けて、米の価格の判断材料にしたことであったという内容を読み取りましょう。

五 作文 45.0%

ねらい：選んだ理由を的確に説明する。

分析と対策：自分が何に興味をもったかを考えて書きましょう。

全体の平均点は46.5点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。
個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。